

たかはま

だからこそできる
すてきな
まちづくり



子どもにはまちづくりに

参加する権利がある

「住んでよかった」「いつまでも住み続けたい」と思える高浜市をみんなで力を合わせて築いていくことをめざして、平成23年4月に施行した「高浜市自治基本条例」。その中には、「子どものまちづくりに参加する権利」についての条文があります。子どもだからこそ地域の問題や将来に関心を持ち、まちづくりに加わる機会が常に与えられていることが、次の時代を担う人材育成につながるという考えによるものです。

この想いを、子どもたちに伝えていきたいという市民の皆さんの熱意のもと、平成24年から、市民と行政が協力し、小学校6年生対象に、まちづくりの出前授業を行っています。授業の中では、「高浜市が好きですか」「大好きです」というやりとりや、まちづくりのキャッチフレーズ「思いやり支え合い手と手をつなぐ大家族たかはま」を唱和し、まちへの想いを共有。いっしょに頑張っていこうという気持ちを高めています。

授業後の子どもたちの振り返りには、「自分たちにもできることがある」「地域のイベントには積極的に参加したい」「ゴミ拾いやあいさつをしたい」と意欲的な意見が多く見られました。

